

(貿易)

境港の貿易額の推移



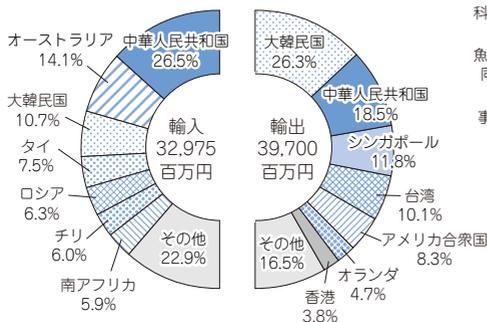
平成17年から平成21年までの貿易統計による境港の貿易額の推移を見ると、平成20年までは輸出額、輸入額とも増加していましたが、21年には大幅減少となりました。

平成21年の仕向地別貿易額の割合を見ると、輸入では「中華人民共和国」、輸出では「大韓民国」の占める割合が最も高くなっています。

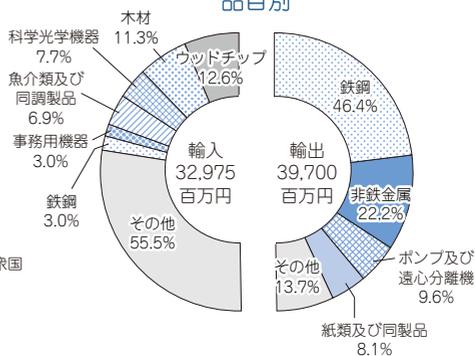
また、品目別貿易額の割合を見ると、輸入では「ウッドチップ」の占める割合が最も高く、次いで「木材」「科学光学機器」となっています。一方、輸出では「鉄鋼」の占める割合が最も高く、次いで「非鉄金属」「ポンプ及び遠心分離機」となっています。

境港の仕向地、品目別貿易額の割合 (平成21年)

仕向地別



品目別



境港の貿易額

単位：百万円

項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
輸出額	46,905	57,333	73,361	74,054	39,700
うちアジアNIES	24,549	28,841	36,155	34,457	20,629
うちASEAN	8,258	10,407	14,597	12,171	6,868
輸入額	46,921	56,199	55,243	59,373	32,975
うちアジアNIES	4,808	5,414	3,895	6,620	3,634
うちASEAN	7,375	6,844	9,285	11,181	9,359
輸出入総額	93,826	113,532	128,604	133,427	72,676
外国貿易船入港隻数	721隻	772隻	582隻	497隻	433隻

資料 神戸税関「貿易統計」

アジアNIES…韓国、台湾、香港、シンガポール

ASEAN…タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア